

しみず人のONとOFF



第6回

宇多タエ子 総看護師長
のONとOFF



キャッチフレーズは「笑顔で声かけ」 明るい病院づくりを率先

着任から1年を迎える宇多総看護師長。一番力を注いでいるのは接遇の向上だ。看護師から率先して患者さんに声をかけるだけでなく、看護師同士の声かけも率先して行っている。

「今日も笑顔で元気に頑張りましょう」「優しく笑顔で接しましょう」と、皆が朝のミーティングで繰り返すうち、「病院が明るくなった」「皆さんが親切にして下さる」と患者さんから声をかけてもらうことが増えたという。

●本人DATA

平成20年、京都伏見しみず病院に就任。個別看護を重視し、「その方に応じた看護を行うということ、同じケースはないということ。100回患者さんに対応すれば100回が勉強。毎日、患者さんから教わっています」と信条を語る。

ON

OFF

週末のガーデニングで 心をリフレッシュ!

日々、業務に追われる宇多総師長が、何より楽しみにしているのは、週末のガーデニング。他のことは全て忘れ、虫に刺されながら、花や野菜、果物に夢中になっているという。「今の季節はイチゴやトマト。手をかければそれだけ、花の数も多くなり、赤い実が生ります」と、満面の笑顔。花好きの職員と、コミュニケーションにも花を咲かせているそうだ。「手をかければかけるほど、気持ちが通じ合い、応えがかえってくるのは、植物も人も同じです。相手の話に耳を傾けながら頑張っていきたい」

